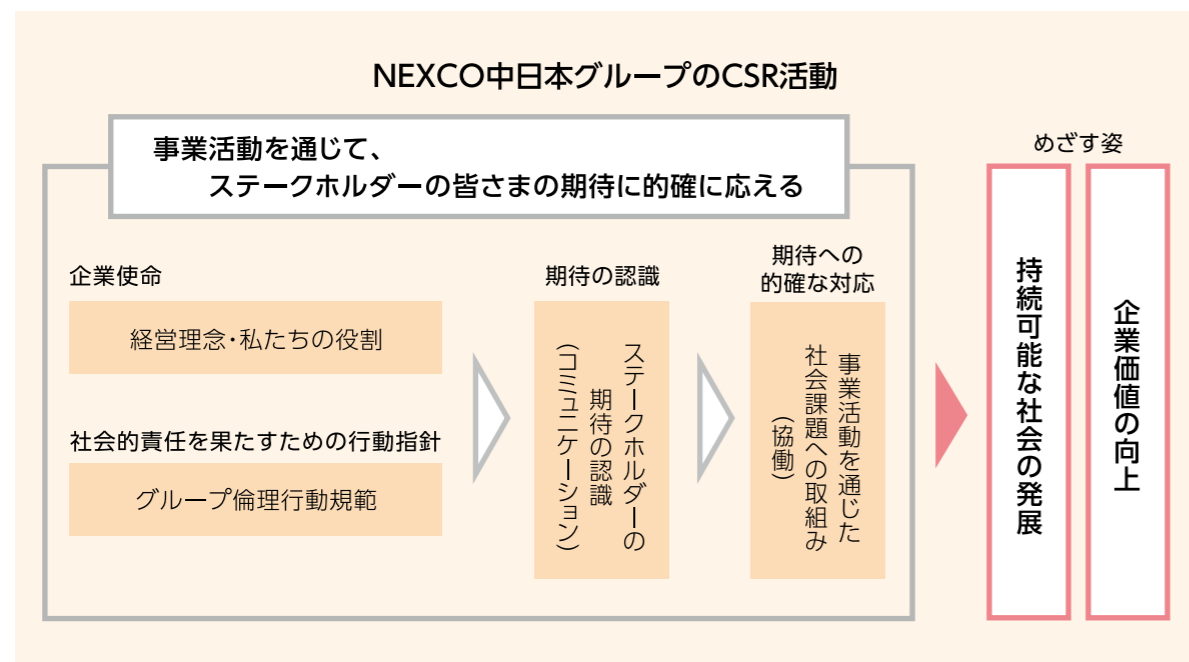


NEXCO中日本グループのCSR

高速道路事業をはじめとする私たちの事業活動を通じて、ステークホルダーの皆さまの期待に的確に応えていくことが、当社グループのCSR活動です。

私たちは、ステークホルダーとの対話と協働のもと、事業活動を通じて社会課題に取り組むことで、持続可能な社会の発展と企業価値の向上をめざします。



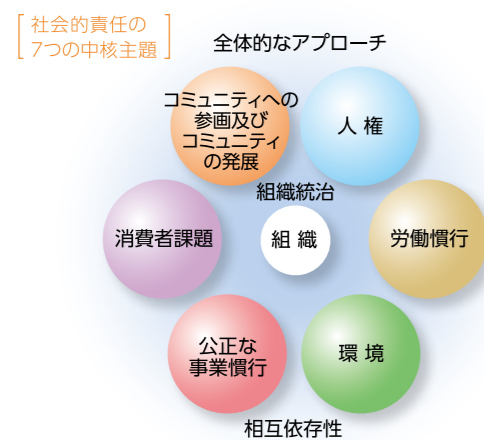
CSRの推進体制

当社グループは、経営トップをメンバーとする経営会議を設置し、経営施策とCSRを一体的に審議することで戦略的にCSRを推進する体制を整えています。

ISO26000の視点を取り入れ、CSR活動の課題や重点テーマを特定し、各施策の達成状況を重要業績評価指標 (KPI) によって把握し、PDCAサイクルを回しながら、CSR活動を推進しています。また、国連グローバル・コンパクトが提唱する「人権・労働・環境・腐敗防止」の4分野からなる10原則に賛同し、2008年7月からグローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン(GCNJ)に参加しています。



ISO26000の7つの中核主題



出典：「ISO26000：2010社会的責任に関する手引」（日本規格協会）

国連グローバル・コンパクトの10原則

人権		原則1	人権擁護の支持と尊重
		原則2	人権侵害への非加担
労働		原則3	結社の自由と団体交渉権の承認
		原則4	強制労働の排除
		原則5	児童労働の実効的な廃止
		原則6	雇用と職業の差別撤廃
環境		原則7	環境問題の予防的アプローチ
		原則8	環境に対する責任のイニシアティブ
		原則9	環境にやさしい技術の開発と普及
腐敗防止		原則10	強要や賄賂を含むあらゆる形態の腐敗防止の取り組み

CSR活動の重点テーマ

ステークホルダーの皆さまの期待を経営に反映させる視点で、社会・環境・ガバナンスの3つの側面について、取り組むべき「重点テーマ」を特定し、経営計画へ反映することにより、CSRと事業活動を一体的に推進します。

社会

- 安全・安心で持続可能な社会基盤の構築
 - 質が高く信頼できる強靱な道路インフラの実現
 - 老朽化への対応、構造物の安全性向上
 - 自然災害に対する強靱性及び適応力の強化
 - 道路インフラの効率的な活用
 - 技術開発の促進、技術革新への対応
 - 交通事故による死傷者削減
 - 高齢者、障がい者、女性、子どもなどのニーズへの配慮
 - 維持管理ノウハウの高速道路外での活用
- 持続可能な都市や地域コミュニティの発展への支援
 - 都市や地域の良好なつながりの支援
 - 地域の産業活性化・観光活性化の支援

環境

- 地球温暖化の抑制と地域環境への配慮
 - 地球温暖化の抑制
 - 資源の3Rの推進
 - 地域環境への配慮

ガバナンス

- 社会から信頼されるガバナンス・内部統制の強化
 - 高い倫理観に根ざした企業文化の醸成
 - 事業運営の透明性・効率性の向上
 - 社会的要請への適切な対応

社会貢献の取組み

当社グループは、地域イベントの参加や環境コミュニケーション活動を通じた地域社会への貢献、グループ社員によるボランティア活動、東日本大震災被災地における復興支援活動など、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。



農山村活性化ボランティア活動（静岡県静岡市水見色地区）

2016年度 社会貢献活動人数 15,000人・日

グループの従業員が高速道路沿線地域の課題解決に取り組むことで、CSR意識の醸成を図ることを目的とした農山村での地域活性化のボランティア活動を6カ所で実施しています。



小学生の社会科見学（石川県金沢市）



保育園での安全講習会（愛知県長久手市）

地域社会の一員として、次世代を担う子供たちに、高速道路の役割や交通安全について学ぶ機会を提供しています。